

2014年 新年を迎えて

会員みなさん、あけましておめでとうございます。

排出事業者はじめ、建廃協をご支援、ご指導いただいている多くの方々、あけましておめでとうございます。さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も、引き続きよろしく願い申し上げます。

建廃協では、1年間の準備期間を経て、昨年の「講演と懇親の集い」で青年部をスタートさせました。「ひろがれ、繋げよう『絆』我々にできること」のスローガンを掲げ、月1回の部会では、全員の発言でワイワイガヤガヤと楽しく議論しながらも、社会貢献活動にも取り組み始めています。組合活動に若い息吹が吹き込まれています。

中小企業事業協同組合として、組合員の経営をサポートすべく、共同購買を推進し、雇用形態と社会保険の在り方も学びました。また、環境系大学の新卒者の共同採用にも取り組みました。今年はさらに発展させて、新卒者の共同新規採用を定着させるとともに、人材・労働力確保のための取り組みを模索していきます。

なんといっても、建廃協は適正処理、リサイクルを追求する集団です。

昨年の「講演と懇親の集い」において提唱しました「ふるい下残さの適正処理ガイドライン(案)」をもとに、排出事業者の方々に向けて建設混合廃棄物の「適正処理キャンペーン」を展開しました。本年は、この「ガイドライン(案)」を確定させ、二次処理先を開示していく「自主管理システム」とともに、車の両輪として取り組んでいきます。

また、排出事業者である建設会社と連携し、「再生利用個別指定制度」を活用した建設汚泥のリサイクルを建廃協として取り組むことにしています。

6年後の東京オリンピックに向け、建設需要が高まる中、全国的展開や協業化といった長期的な課題にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。皆さんの大きなご支援をお願い申し上げます。

本年のご繁栄とご多幸を祈念しております。



建設廃棄物協同組合 理事長 島田 啓三

